



### ◆8月のCP市場動向

8月末のCP市場残高は24兆8,392億円で前月比2,534億円減少した。前年同月比では8,002億円の減少となった。発行市場は、企業の夏季休暇の関係もあり、新規発行案件が少なかったものの、調達環境の良さから高水準の残高を維持している。業種別残高では、その他金融が11兆171億円（同+832億円）と増加し、初めて11兆円を上回った。一方、一般事業法人が9兆9,662億円（前月比△100億円）、金融機関は2兆3,821億円（前月比△1,556億円）、ABC Pは1兆4,738億円（同△1,710億円）とそれぞれ減少した。発行レートは、幅広いレンジでの出会い。大型の発行を行った銘柄では0%近辺の出会いも見られたが、コロナオペの残高は増加傾向にあり、担保目的等のCP引受需要は依然として高いことから、マイナス圏内での出会いが中心となった。

### 【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄（A-1+格） 0.000%割れ 一般事業法人（A-1格） 0.000%割れ  
 その他金融銘柄（A-1格） 0.000%割れ

### 【業態別残高内訳】

（単位：億円）

業 態	8月末残高	7月末残高	増 減
一般事業法人	99,662	99,762	-100
その他金融	110,171	109,339	832
金融機関	23,821	25,377	-1,556
政府系金融	0	0	0
銀行等	4,264	4,794	-530
証券	19,557	20,583	-1,026
ABC P	14,738	16,448	-1,710
計	248,392	250,926	-2,534

（注：買入消却分含む）

### 【格付け別の発行レート】

格 付	1か月		2か月		3か月	
a-1+（一般事業法人）	——	～ 0.000%	-0.080%	～ -0.020%	-0.085%	～ -0.010%
a-1（一般事業法人）	-0.080%	～ -0.010%	-0.090%	～ -0.001%	-0.090%	～ -0.007%
a-1+（リース銘柄）	-0.008%	～ -0.005%	——	～ ——	-0.006%	～ ——
a-1（リース銘柄）	——	～ 0.020%	——	～ ——	-0.002%	～ 0.010%
a-2	0.002%	～ ケ0.20%	——	～ ケ0.25%	-0.055%	～ ケ0.35%

#### 「CPオペ」

CP等買入オペは、当初予定通り2回の合計1兆円で実施された。13日オファー分の結果は、応札額8,025億円、按分レートは $\Delta 0.013\%$ と前回比横ばいとなった。26日オファー分は、応札額8,116億円按分レート $\Delta 0.015\%$ と前回比で低下した。応札倍率は各回共に約1.6倍となっており、ディーラーの買切りオペへの応札ニーズが低下した結果となった。

〈月末オペ残高：3兆1,778億円〉

#### 【日銀CP等買入れオペ実績】

(単位：億円)

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
8月13日	8月18日	5,000	8,025	4,975	-0.013%	-0.011%	66.1%
8月26日	8月31日	5,000	8,116	4,984	-0.015%	-0.010%	30.4%

#### 「ABCP」

ABCPは、1兆4,738億円と前月比1,710億円の減少、前年同月比では1,008億円の増加であった。

#### 「短期社債登録状況」

証券保管振替機構によると、8月末時点における発行登録企業数は変わらず541社であった。

#### 「CP現先市場」

現先(S/N)レートは運用ニーズ変わらず、マイナス $\sim 0\%$ 近辺での出会いとなっていた。

#### ◆9月のCP市場動向

9月のCP発行市場は、企業が中間期末の有利子負債圧縮の目的で月末残高を調整する動きが予想される。一方、CPの良好な発行環境が継続されていることから中間期末を越える発行を選択する企業により、月末発行残高は23兆円前後での推移を予想する。発行レートは、引き続きワイドレンジでの出会いが予想される。コロナオペへの担保需要等により、希少銘柄等に対しては引き続きマイナス圏での出会いが予想される。

#### 「CPオペ」

CP等買入オペは、13日と27日でそれぞれ5,000億円のオファー予定となっている。発行残高が高水準で推移しているが、四半期末要因による発行の減少が見込まれ、コロナオペへの担保需要も強く、ディーラーの売却ニーズも限定的となり、按分レートは低下基調を予想する。

#### 「CP現先市場」

CP現先レートは、 $0\%$ 近辺での出会いを予想する。

\* 参考資料 (出所：証券保管振替機構)

【8月末発行残高 上位10社】

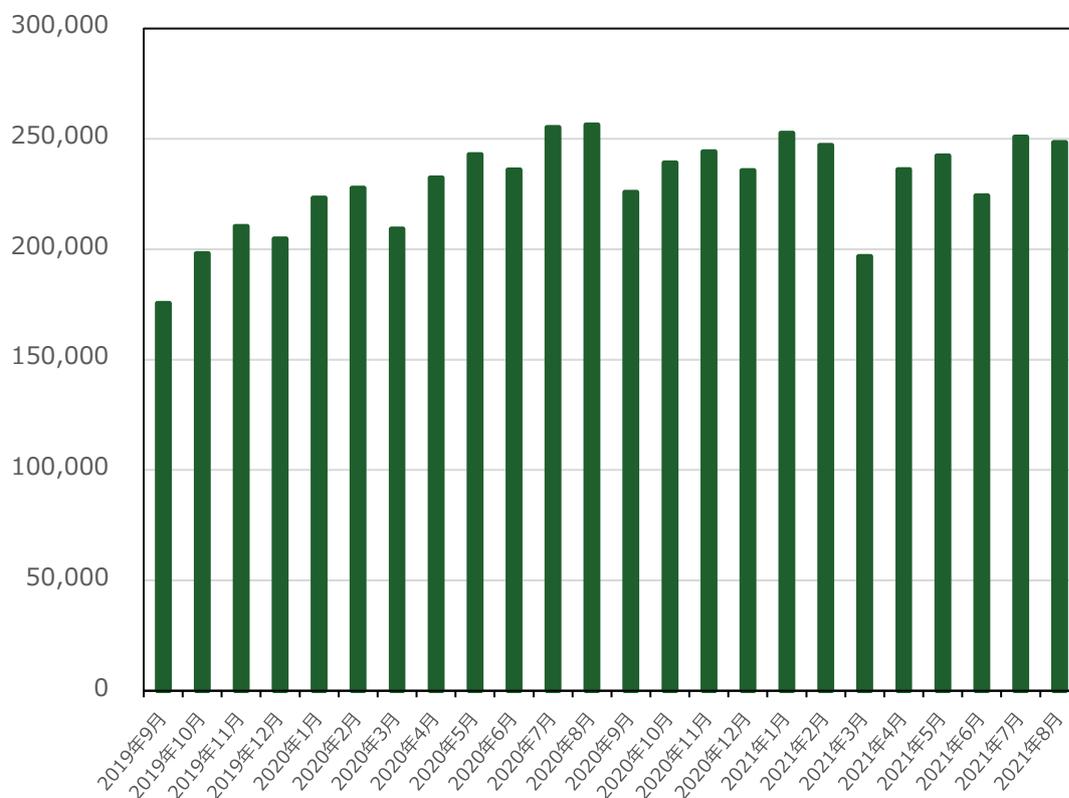
(単位：億円)

	発行企業名	8月末残高	7月末残高
1	NTTファイナンス株式会社	15,070	13,170
2	三井住友ファイナンス&リース株式会社	9,768	9,668
3	NTT・TCリース株式会社	8,180	8,885
4	コンチエルト・レシーバブルズ・コーポレーション	6,785	7,703
5	みずほリース株式会社	6,035	6,000
6	関西電力株式会社	6,000	6,000
7	三菱HCキャピタル株式会社	5,605	5,300
8	日本証券金融株式会社	5,024	5,133
9	株式会社クレディセゾン	4,950	5,050
10	三菱重工業株式会社	4,710	5,150

【短期社債市場残高】

(2019年9月～2021年8月)

(単位：億円)



---

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

#### **上田八木短資株式会社**

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会